

令和6年度 専門分野

科目名	看護の統合と実践	単位(時間)	7(225)	27期生	DP
担当講師名	専任教員 他			3年次	1・2・3・4
科目設定理由	<p>「看護の統合と実践」については、近年の新卒看護師の離職率の上昇が、看護学校の教育内容と臨床現場との乖離や、未来志向的発想の乏しさにあると考え、本校の卒業生が卒業後も生き生きと学び働くために必要な学習内容を設定しています。医療の動向とリスクマネジメントや基礎看護学で履修した内容を土台として、「看護管理」では組織の理解及び組織の一員としての役割、メンバーシップとリーダーシップについて学習できる内容とし、「医療安全」については、医療組織のなかでの安全対策や、医療過誤防止のために事故事例をもとに事故防止を考え判断する能力や倫理観を育成する内容としています。「災害看護」は、災害看護の概要だけでなく、災害時における看護の役割と実際の看護活動について学ぶ機会となります。その上で、災害時に看護職者として対応できるよう救命に繋げられるような応急処置の演習や、実践可能な技術を習得します。「統合技術と看護の発展」では、基礎看護学で学んだ基本技術と生活援助技術や、各看護学の講義・演習・実習等で学んだ内容をふまえ、事例演習により侵襲度の高い技術や必要な援助を判断・実施できる能力を習得します。</p> <p>さらに、医療チームの一員であることを自覚でき、卒業後の急変時がイメージできるように、救命講習 (ICLSコース: 日本救急医学会) の演習をします。この科目では、既習の知識・技術を統合して安全で確実な看護技術を実践する能力の到達度の総合評価も行います。「国際看護」では世界の健康格差を看護の視点からとらえます。国内における在留外国人患者へのケアなど国際協力として考える機会にしていきます。</p>				
科 目 構 成	科目名	看護管理と医療安全	災害看護と国際看護	救命処置と看護	臨床看護の実践
	単位時間	1単位 30時間	1単位 25時間	1単位 20時間	1単位 30時間
	学習範囲	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護とマネジメント 2. 看護ケアのマネジメント 3. 看護職のキャリアマネジメント 4. 看護サービスのマネジメント 5. マネジメントに必要な知識と技術 6. 看護を取り巻く諸制度 7. 組織としての医療安全管理 8. 感染管理 10. エラー・マネジメント 11. 看護部門・病棟管理の実際 11. 看護部門・病棟管理の実際 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害概論 2. 災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護 3. 災害看護に必要な技術 4. 被災者特性に応じた災害看護 5. 国際協力と国際看護 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 救命処置 2. ICLS講習 3. 急変時の看護 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体侵襲を伴う検査・治療の技術 2. 医療機器の取り扱い 3. 多重課題の看護 4. 臨床判断の実際
	科目名	統合実習			
単位時間	3単位 120時間				
実習のねらい	<p>統合実習は各分野の実習で学んできたすべての学習を活かし、チームの一員として行動し、それぞれの患者の状態に応じた看護の実践をする実習です。看護実践を通して、組織の中での看護部の理念や位置づけ、役割と機能を知りましょう。そして多職種とともに連携しながら、対象に必要な看護について考えられると良いでしょう。</p> <p>看護実践では、チームが担当する複数患者の看護にチームの一員として参加します。皆さんの先輩である看護師がどのように知識を活用し、優先度・時間管理等を判断しているかを知りましょう。そして、実施した看護をチームで振り返り評価することで、患者にとって一貫した看護を行う大切さがわかると良いでしょう。</p> <p>さらに夜間実習では、日中とは異なる環境の中で起こる様々な状況に対して、メンバーがどのように連携を図り、患者の安全を守りながら看護を展開していくのか学びましょう。学生である皆さんは、初めて複数患者を担当し、援助を行う際の優先度や時間管理、必要な看護の判断に戸惑うことがあるでしょう。その時には、チームメンバーから助言や助力を貰いながら、メンバーの役割を果たすことで、看護を共に行うチームの仲間としての喜びを知ることができるはずです。そして、実習での体験から看護師となる自分を思い描くとともに、看護師として必要な能力や課題を明らかにしていきます。</p> <p>学生である皆さんは、初めて複数患者を担当し、援助を行う際の優先度や時間管理、必要な看護の判断に戸惑うことがあるでしょう。その時には、チームメンバーから助言や助力を貰いながら、メンバーの役割を果たすことで、看護を共に行うチームの仲間としての喜びを知ることができるはずです。そして、実習での体験から看護師となる自分を思い描くとともに、看護師として必要な能力や課題を明らかにしていきます。</p>				